

二〇一〇年度・学力検査問題【国語】

(中学第二回)

注 意

- 一、試験時間は50分です。
- 二、答えはすべて解答用紙にはつきりと記入しなさい。
- 三、解答用紙のみ試験終了後集めます。
- 四、問題は12ページで□・□の二題あります。開始の合図で必ず確認し、そろっていないう場合にはすぐに手をあげなさい。
- 五、本文の表現については、作品を尊重し、そのままにしてありますが、設問の都合上、省略した部分、表記を改めた部分があります。
また、特に指示のないかぎり、句読点も一字に数えます。

―― 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

小説家の「里中保」は、他人の声や気配が嫌いです。姉の中学
生になる娘、「雨音」をかばつて交通事故にあって失明して以来、
亡き父から遺された長野県の土地に別荘を建てて暮らしています。
近所の農家の「明美」に身の回りの世話をしてもらっているのに
加え、ここ数ヶ月は姉が盲導犬訓練センターから連れてきた
「ジョーヌ」と過ごしています。夏休みになり、姉と雨音が一週
間の予定で遊びに来ました。

里中の足もとではジョーヌが伏せている。犬にとつてもかぐわしい
香りが充満しているだろうに、食べ物に興味を示すこともない。仕事
をまつとうすべく、徹底的な訓練を受けているのだ。
「あんたの書斎でいい？」
「ここじゃダメなのかい？」
「ダメなのよ」

「ジョーヌ、書斎に行くぞ」
ハーネスを揃んでジョーヌに声をかけた。ジョーヌに導かれるまま
里中は歩く。その後ろから姉がついてくる。

「なんなんだよ、相談つて」

書斎に着くと、自分の椅子に座つて訊いた。他に椅子はないから姉
は突つ立つてはいるはずだ。

「わたし、多分、離婚する」

姉が口を開いた。里中はうなずいた。姉と義兄の間に隙間風が吹き
はじめてからかなりの時間が経つ。どちらも、雨音を傷つけまいと己
を殺していたのだ。

その雨音も中学生になつた。潮時なのだろう。

「それで相談なんだけど、正式に離婚したら、雨音と一緒にこつちに
越してこようかと思つて」

「ちょ、ちょっと待つて。なんだよそれ？」
「雨音もこつちの生活気に入つたみたいだし……」

食事の最中、姉が言つた。
「相談？ 明日帰るのかい？」
「帰るのは明後日よ」

里中はうなずき、ワインを口に含んだ。今宵の夕飯は山盛りのサラ
ダとラムチョップのステーキ、バジルとトマトをふんだんに使つたパ

「ちょっと待つて言ってるじゃないか」

「あら、怒つてるの？」

「当たり前だ。ここはおれの家だ。勝手に話を進めるなよ」

「あら。確かに、^{*2:もの}上物はあんたのお金で建てたけど、土地はわたしとあんたのものでしよう」

「それはそうだけど……」

父が姉弟に遺してくれたのは神奈川のマンションとこの土地に古い家屋だった。マンションは処分して金を折半したが、ここは父が好きだった場所だからと姉弟の共同名義に書き換えた。

「一人が好きなのは知ってるけど、わたしたち親子のため、姉のためと思つてくれない？」

「他人がいると、仕事ができない」

「わたしたちは他人じやないし、慣れればできるようになるわよ」

姉はもうその気なのだ。里中がどれだけ抵抗しても、重戦車のよう

にすべてを難ぎ倒してこちらに向かってくる。

「明美さんにいつまでもお世話になつてゐるわけにもいかないでしよう。親切で来てくれるけど、あの人にもあの人事情があるのよ。あんたは知らないだろうけど

「事情？」

「わたしたちが来れば、あんたの世話だつてちやんとしてあげられる。目が見えなくなつたときには何度も言つたでしよう。一緒に暮らそうつ

て。なんの遠慮もいらないからつて。それなのに、あんたと来たら頑固一徹。^{*3:わざわざ}ほんとに、だれに似たのやら……」

「無理だ。おれには無理だ。ゆるしてくれ、姉さん」

²姉から放たれる気配が変わった。

「夫の会社、業績が落ち込む一方なの。雨音の養育費は出すと言つてるけど、慰謝料はあまり期待できないの。そうなると、^{*4:の}賃貸マンショ

ンを見つけて敷金や礼金も払つてっていうのが難しいのよ」

悪夢が現実になろうとしている。里中は喘ぎながら腕を伸ばした。

指先がジョーヌに触れた。ジョーヌの体温が悪夢を遠ざけてくれるような気がした。

「わたしたちを助けると思つて。保、お願ひ」

姉に懇願されたら断れない。結局は受け入れ、これから的一生を苛立ちを抑えながら生きしていくことを強いられるのだ。

「保、聞いてるの？」

里中は答えなかつた。掌をジョーヌの背中に押し当て、毛の柔らかさと伝わつてくる体温にすべての意識を集中させた。

「保——」

「明後日までに返事をするから、今夜はもうひとりにしてくれないか」

里中は言つた。自分でも驚くほど強い口調だった。

「そ、そう？ ジヤア、よく考えておいて」

「明美さんに、酒の用意をするよう言つてくれ。ウイスキーが飲みたい

「ウイスキーね。わかつたわ」

姉が出て行つた。里中はジョーヌを撫で続けた。ジョーヌの尻尾が揺れている。ジョーヌの吐息が聞こえる。ジョーヌは里中を見上げている。明美がやってきて、ウイスキーの水割りのセットを載せたトレーを置いていった。

里中はウイスキーを飲んだ。飲んではジョーヌを撫でては飲んだ。ジョーヌは尻尾を振りながら里中に撫でられ続けた。
〔なにか言えよ。ワンでもキヤンでもいいから、なにか言つてくれ、³〕

【ジョーヌ】

ジョーヌは吠えない。^ほただ、尻尾を振り続いている。

目覚ましが鳴った。目覚ましを止め、唸り、また眠る。^{うな}^{ねむ}

雨音が起こしに来た。

【保おじさん、散歩の時間だよ】

頭が痛む。ジョーヌに触れ、ジョーヌに話しかけながら延々と飲み続けた。いつベッドに入つたのかも記憶にない。

【すまん、今日は散歩は中止だ】

雨音がなにかを言つたが、里中は布団の中に顔まで潜り込んだ。眠つた。

「先生、ご飯をあげなきやならないから、ジョーヌちゃんを連れていきますよ」

明美の声がしたが、夢うつつの中で聞いた。

笑い声が響いた。犬の吠える声が轟いた。里中はこめかみを押さえながら身体を起こした。笑い声は女たちのものだった。犬の吠え声は初めて耳にするものだった。どちらも庭から聞こえた。

里中は立ち上がつた。ステッキをついた。ジョーヌが来る前はステッキがあればそれで充分だったのに、今は心許ない。記憶を探つて家具

の位置を確かめながら寝室を出、階下に向かつた。階段を下りきつた時にはすっかり疲弊していた。普段、どれだけジョーヌに頼り切つているのかを実感させられる。

痛む頭をさすりながらビングを横切り、テラスの窓を開けた。生温い風が吹き込んできた。

【こっちだよ、ジョーヌ】

雨音の笑い声が弾けていた。姉の笑い声がそれに続く。が嬉しそうな声だ。

【ジョーヌ?】

里中は耳をそばだてた。間違なく、犬が吠えている。庭を駆け回つている。

「あら、先生、起きていらしたんですか?」後ろで明美の声がした。
「お水かお茶を持ってきましょうか?」

【吠えているのはジョーヌかい?】

里中は声を低めた。

「ええ。ジョーヌちゃんが退屈そうだつて雨音ちゃんが言い出して、それなら、少し庭で遊ばせてあげようかっていう話になつて……」

明美の言葉は言い訳がましい。

【それで?】

「ハーネスを外して庭に出してあげたら、ジョーヌちゃん、人が変わつたみたいに駆けだしちやつて。あれ? 人が変わつたっていうのはおかしいかしら?」

身体が震え、胸が締めつけられた。ジョーヌの吠える声を初めて聞

いた。ジョーヌが躍動する音を初めて聞いた。

ジョーヌは鳴かない、吠えないのだと決めつけていた。遊ぶことより、仕事をこなすことに喜びを感じるのだと決めつけていた。

そうではない。

人のためになるよう、盲導犬として大成するよう、徹底した訓練を受け、自我を殺すことを教え込まれたのだ。

里中がそばにいる時は仕事の時間だ。ハーネスが装着されている時も仕事の時間だ。家にいる時はハーネスを外すこともあるが、ジョーヌは絶えず里中のそばにいた。一日二十四時間、ジョーヌは仕事モードで生活していたのだ。

里中がおらず、ハーネスも外された。その瞬間、ジョーヌは盲導犬から普通の犬に戻ったのだ。

「あら、保。起きてきたの？」

姉の声がした。途端に、ジョーヌの声がやんだ。軽快な足音が近づいてきて、止まつた。激しい息遣いが聞こえる。

「ジョーヌ、もつと遊んでいいのよ。今日は散歩はないんだから」姉が言う。だが、ジョーヌは動かない。里中が来たから、遊びの時間が終わったのだ。仕事に戻らなければならない。

「ジョーヌ……」

里中は足を踏み出した。スリッパの底がウッドデッキに触れた。

「ジョーヌ……」

自分の声が震えていることに気づいた。

「ジョーヌ……」

だれかが里中の左腕を取つた。匂いで雨音だとわかつた。

「ジョーヌはこっちだよ、保おじさん

雨音の息も荒い。雨音に腕を引かれ、デッキの端まで辿り着いた。

「ジョーヌ、保おじさんだよ」

「ジョーヌが跳んだ。はつきりと感じた。庭からデッキにジャンプしたのだ。

「ジョーヌ……」

里中は腰を屈め、左腕を伸ばした。すぐに指先がジョーヌに触れた。ジョーヌの顔。口の周りが涎で濡れている。走りまわつたせいで。犬に戻つたせいだ。

「もつと遊んできていいんだぞ、ジョーヌ」

里中は言った。ジョーヌを庭の方に押した。だが、ジョーヌは動かなかつた。荒い息遣いのまま、里中のそばを離れようとしない。

「ジョーヌ、いいんだ。今日は散歩に行かない。仕事は休みだ。休みの時は好きにしてもいいんだ」

里中はデッキに腰を下ろした。ジョーヌを抱きしめた。ジョーヌの尻尾が揺れるのを感じた。

「すまない、ジョーヌ。おれのために……」

ジョーヌの涎でパジャマが濡れた。いくらでも濡れればいい。

「犬はね、遊ぶのも大好きだけど、仕事をするのも大好きなんですって。訓練センターの人が言つてたわ」姉が言つた。「だから、犬の本能を抑圧してるとつて考える必要ないんですけど」

「そんなこと、いつ聞いた？」

「一番最初。わたしが思いつきで動いたと思つてるの？」ちゃんと調

べて、あなたの性格も慮つて、それで申し込んだのよ」

里中はジョーヌを撫で続けた。その健気さが愛おしくてたまらなかつた。

「おれの性格も……」

「当たり前じやない。わたしはあんたの姉なんだから。家族つてそういうもんでしょ」

家族などいらない。煩わしいだけだ。里中はずつとそう思つてきた。友人もいらない。知人もいらない。ひとりで、好きなように生きていきたい。

だが、ジョーヌはすでになくてはならない存在だった。ジョーヌと引き合わせてくれたのは姉だつた。

「おれひとりじや、おまえを遊ばせてやれないな」

里中はジョーヌに言つた。

「兩音がいれば、遊んでもらえるな」

ジョーヌは里中に抱きしめられたまま、まだ尻尾を振つている。⁵

仕事だけではなく、ジョーヌには大らしい喜びも与えてやりたかつた。

「姉さん、昨日の話、OKだよ」

里中は姉に顔を向けた。^{※11}破顔する姉が脳裏にありありと浮かんだ。「家族が増えるぞ、ジョーヌ」

両手でジョーヌの顔を挟み、自分の顔を近づけた。柔らかく濡れたものが鼻に触れた。ジョーヌが舐めたのだと気づくのに、しばらくの時間がかかつた。

(馳星周『陽だまりの天使たち ソウルメイトⅡ』集英社

所収「ラブラドール・レトリーバー」より)

※1 ハーネス：盲導犬などの胴体に装着する胴輪。

※2 上物：建物のこと。

※3 折半：半分に分けること。

※4 共同名義に書き換えた：一人の持ち物にする契約をした。

※5 敷金や礼金：引っ越しの際に必要となる費用。

※6 夢うつつ：意識がぼんやりしている状態。

※7 自我を殺す：自分の本能をおさえつける。

※8 満喫：十分に満足するほど味わうこと。

※9 虑つて：よくよく考えて。

※10 煩わしい：めんどうである。

※11 破顔：満面の笑みを浮かべること。

問――線 a 「潮時」・b 「心許ない」とあります。本文における意味として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

a 潮時
ア よい年頃
イ よい機会
ウ もはや限界

ア よい年頃
イ よい機会
ウ もはや限界
エ もはや手遅れ

b 心許ない
ア 心細く不都合だ
イ 自信が持てない
ウ 気をゆるせない
エ 賴りなく不安だ

問二　——線1「里中の（）受けているのだ」とあります、この時の「里中」は、このような「ジョーヌ」についてどのようにとらえていますか。それが述べられている一文を文中から探し、最初の五字を抜き出しなさい。

問三　——線2「姉から放たれる気配が変わった」とありますが、「この時の「姉」について説明したものとして、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 積極的な態度を押し通す里中の冷たい言葉に心を痛めつつ、雨音の養育について話題の方向を変えた。
イ 父の遣した土地は姉弟で共有するのだということを拒む里中に対して、あきらめの気配を浮かべた。

ウ 家族のつながりを強調しても里中の心が変わらないとわかれり、費用面の理由があることを明かさなくてはと、心を決めた。
エ 明美をはじめとする周りの人に迷惑をかけてもいいとする里中の自分勝手な考えに、怒りをあらわにした。

問四　——線3「なにかと言えよ。（）ジョーヌ」とあります、「この時の「里中」について説明したものとして、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 姉と雨音と共に住むことは避けられないと理解しつつも、ジョーヌのように落ち着けない自分を反省している。
イ 姉と雨音と暮らすことで、今までの孤独で静かな生活が失われることに怒り、ジョーヌに不満をぶつけている。

ウ 失明の原因である雨音を責めるつもりもなく、ジョーヌに雨音の心をいやす手助けをしてほしいと訴えている。

エ 混乱する気持ちを落ち着けようとして、無理だと分かつていながらも、ジョーヌに救いを求めている。

問五　——線4「『ジョーヌ……』（）『ジョーヌ……』」とありますが、この表現について説明したものとして、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 里中は、全身で喜びを表すジョーヌの気配から、盲導犬としての忠実さを求めるよりも、ありのままの犬として受け入れねばならないと理解した。その愛情が高まっていく様子を描き出している。

イ 里中は、普通の犬に戻って雨音と遊ぶジョーヌの姿に、人間に仕える盲導犬としてではなく、お互いに気持ちが伝わりあう家族としてのあり方を気付かされた。その心情が少しうつ深まってゆく様子を描き出している。

ウ 里中は、吠えるはずがないと思っていたジョーヌの躍動する音や楽しげな声を耳にして、盲導犬であるにも関わらず、主人である里中以外の言葉に従うジョーヌの姿にとまどいを感じた。その驚きを何度も繰り返し表現している。

エ 里中は、ジョーヌにとつて仕事を意識させる存在である自分さえ側にいなければ、ジョーヌは普通の犬として楽しく生きることができるのにと心を痛めていた。そうしたもどかしさを何度もかみしめる里中の姿を表現している。

問六 線5 「仕事だけではなく、～と与えてやりたかった」とありますか、「里中」がそのように思つたのはなぜですか。その理由を三十字以内で説明しなさい。

ありますか、「里中」がそのように思つたのはなぜですか。その理由を三十字以内で説明しなさい。

問七 線6 「両手で～時間がかかつた」とありますか、この時の「里中」について述べたものとして、最も適当なものを次の

中から選び、記号で答えなさい。

ア 人間と盲導犬という関係から、より親しい関係へと踏み出した里中をジョーヌは受け入れてくれたことで、里中の心がとけ、心のつながりに気付くことができた。

イ 盲導犬から普通の犬に戻り、犬としての喜びを全身で表すジョーヌに、里中自身の愛情の深さを伝えたくなつたが、声をかけながら顔を近づける以外の方法は思いつかなかつた。ウ いくらハーネスを外しているとはいえ、盲導犬として育てられたジョーヌが、普通の犬のように里中の顔を舐めていることが信じられず、はじめのうちは抵抗を感じてしまつた。エ 里中が姉と住むことを認めさえすれば、ジョーヌはいつも雨音と遊ぶことができ、普通の犬としての幸せな日々を過ごしてゆける喜びを分かち合うことができるよう感じた。

問八 本文全体を通じて描かれている「姉」について述べたものとして、最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 里中の意見に関わらず、雨音の心の傷をいやすことを最優先にして、田舎暮らしを望んでいる。

イ 社会との関わりを失つた里中のことを心配して、無理にでも一緒に住んで世話をしようとしている。

ウ 離婚後の費用の問題もあり、父から受けついだ土地の権利を理由に里中を追いつめようとしている。

エ 雨音を助けるために視力を失つた里中が、本当は持つている心の優しさを見抜いている。

―― 次の文章を読んで、後の問い合わせに答えなさい。

「わからないのはおまえがバカだからだ」あるいは「どうせニュースなんか観ませんよ」というテレビの作り手たちに対しても、「私は「とにかくわかりやすくすることが一番だ」と言い続け、「わかりやすい」番組をつくってきました。その結果、「わかりやすいニュースというものがあるんだ」ということが、多くの人に理解されるようになったと思われます。そこまではよかったですとして、それで視聴率が取れるとなると、我も我もとばかりに、似たような番組^xが次々に出てきます。

「わかりやすくする」ことを言い続けて立場からすると、「これで、わかりやすい、ということにしてしまっていいのか……」と、ひじょ^aうに不本意に感じてしまう番組も増えてきました。たとえば、タレントさんにおもしろおかしくニュースを解説させるような番組などを一視聴者として観ることもあるのですが、「おもしろいけど、本質はそこじゃないよ」「あれ、大事なところを随分^{すいぶん}はしおつてあるなあ」などと、ツッコミを入れたくなったりします。

本当に「わかりやすくする」ためには、ただおもしろおかしくしたり、目立つところだけ抜き出したりすればすむというわけにはいきません。私はよく「ざっくり言うと」という表現を使うのですが、複雑な問題について「ざっくり言う」ためには、その問題の本質は何か、多くのことを知った上で、それらをきちんととかみ砕き、理解している

たとえば「今、何について勉強（研究）しているのですか」という

質問に対する大学の学部生と大学院生とベテラン教授の研究分野の解説を比べてみると、「ざっくり言う」とはどういうことか、わかりやすいのではないかと思います。まず、学部生のレベルでは勉強していることの入り口にあたる部分しか学んでいませんから、ただなんとなくわかった気になっているだけです。「こういうことを勉強しています」という答えがシンプルでわかりやすかつたとしても、それが本質を表しているかとなると疑問でしょう。

一方、大学院生になると、より深く学び、それこそあらゆることを勉強します。しかし、全部大事だから全部言わなければいけないと思ってしまうので、一般の人が聞いてわかりやすい説明にはなりません。

それがベテラン教授になると、研究分野の全体がわかつた上で、まづ言わなければいけないことはこれ、次に大事なことはこれで、この後の部分は時間がなかつたら言わなくてもいいということまで把握できてします。ですから、「ざっくり言うと、こういうことです」と、本質をズバリと言えるようになりますし、聞いている方も「なるほど、わかりやすい」と膝^bを打つわけです。

③ニュースを「わかりやすく」解説するときには、そのベテラン教授のいきに達していなければなりません。しかし、「ベテラン教授並み」の番組が、今、どれだけあるかと考えると、どうも本質をかみ砕くための努力や手間を惜しんでいるのではないか、と心配になってきてしまいます。

そして、もうひとつ、さらに「こまつたな」と思っていることがあります。

たとえば、私の番組を観て、「ああ、なるほどね」とわかつた気になつてしまふ人がいます。けれども、番組ですべてをきちんと説明しているかと言えば、そこが難しいところで、時間的制約もあり、「今回は

ここを重点的に伝えたいから、この部分は切らないといけないな」と、本来ならちゃんと取り上げたくても省略せざるを得ないことも多いのです。少しでも時間があれば、「こういう要素もありますよ」と入れるようにはしていますが、なかなか事情がゆるさない、という場合も少なくありません。ですから、私の番組を観てそこで「もう全部わかつたよ」と満足してしまふのではなく、さらにその先へ進んで、自分で調べたり、考えたりしてほしいのです。

〔週刊こどもニュース〕をNHKの英語学習番組にたとえると「こどもニュース」は言つてみれば当時の入門編の「基礎英語」で、もつとレベルが高い「英会話」や「ビジネス英語」は夜七時や九時のニュースであり、その間をつなぐような「続基礎英語」的ニュース番組が必要だ、と考えていました。NHKにいた間は実現できませんでしたが、今、私が民放でやつているのは、まさにその「続基礎英語」の役割と言えます。つまり私の番組は、「英会話」「ビジネス英語」に相当するニュース番組を観たときに自分なりに考えるための導入編、という位置づけでやつているのです。

時々、町で声をかけられて、「池上さんの番組をきつかけに本を読むようになりました」「ニュースに関心を持つようになつて、いろいろなニュースを調べるようになりました」と、本当に嬉しくなります。テレビだけではなく、私が書いている本も同じで、これはあくまで導

入であり、とりあえずこういうことだとわかつたら、その先の、もう少し歯ごたえのあるものを読んでほしいと思つています。³⁾

本来は活字好きの人間である私は、「いつも池上さんの本を読んでいます」と言われるのが一番嬉しいんです。逆に、「テレビ、いつも観ていてます。本も書いているんですね」と言わると、ついむつとしまいます。そんな私がテレビに出続けているのは、人々にちゃんとニュースを理解してほしい、そして、それを「自分の頭で考える」とことにつなげてほしいと考えていてほしいです。

以前、番組の中で、ゲストのタレントさんから「池上さんはどう考えるんですか。池上さんの考え方が正しいと思いますから、それに従います」と言われて、「そういう考え方があつたことがあります」と、怒つたことがあります。

そもそも、私は自分の意見をテレビで主張することはありません。NHKで「とにかく自分の意見を言つてはいけない」と育てられた意識が今も残つてゐることもありますし、また自分の言葉が思わず影響を世の中に与えてしまうという経験もしたので、言いたいことがあつても、表に出さないようにしています。さらに言うなら、ぜんぜんな民主主義のためには、ひとりひとりがそれぞれ自分の頭で考え、判断することが不可欠です。ですから、自分で考えるということをせず、「池上さんが、そう言つてはいるから」と、安易に従つてほしくないのです。

今の世の中では、たとえば憲法改正ひとつとっても、本当にいろいろな意見があります。これから私たちがこれらの難しい問題について

考えたり判断したりしなければいけないとき、私の仕事も含めたメディアの役割は、その「自分の頭で考える」ためのきちんとした材料を提供することに他なりません。自分の意見を言わない私ですが報道の自由が危うくなりそうだということがあれば、報道に携わる者として言うべきことを言います。報道の自由の下、メディアがさまざまな情報を伝えることにより、そこから先は自分で考えるということとが可能になるからです。

（『メディアは誰のものか——「本と新聞の大学」』だれ
講義録かぎり 集英社
所収 池上彰 「『わかりやすさ』への努力と陥穂」かんせいより）

※1 大学の学部生と大学院生・学部生は大学生のこと。大学院生
は大学卒業後、さらに研究を続けている学生。

※2 「週刊こどもニュース」…かつて筆者が出演していた子供向
けニュース番組。大人にも人気の番組だった。

言論の多様性という意味で、特定の主張をする書籍や雑誌があるのはいいことだと思います。ただ、その一方で、不特定多数の人々に情報を伝えるテレビや新聞は、言つてみれば社会の知的インフラを支え
る存在です。ある特定の思想を持った人たちばかりを並べて読者を誘
う

※ 3 「基礎英語」：かつてN H Kで放送されていた英語を学ぶための番組。基礎的なものから順に「基礎英語」「続基礎英語」「英会話」「ビジネス英語」へと、難しくなっていく構成だった。知的インフラ：物事を考えるうえでの土台となるもの。

な情報を提供し、それを読んだ読者が「自分はどう考えるのか」と思ふ

「英会話」「ビジネス英語」へと、難しくなつていく構成だった
※ 5 知的インフラ：物事を考えるうえでの土台となるもの。
フォーラム機能……では、紙面におけるあるテーマについ
ての特集記事のこと。

最近の新聞では、多様な意見を紹介するフォーラム機能が充実してき

卷之三

れないと、それで満足してしまう」といふことは大変危険であり、それではいけないのだということを、声を大にして言いたいと思います。では、その危険を防ぐためにはこれから何ができるの

——線a「はしょつてゐる」・b「膝ひざを打つ」とありますが、この意味として最も適当なものを次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

a
はしょつている

記号で答えなさい。

かということを今、模索しているところです。たとえば、番組で説明をした上で、「おあ、ここから先は皆さん考えてください」と投げかけたり、あるいは、出演しているゲストのタレントさんたちにその場で考えてもらったりするなど、いろいろなやりができるのではない

かと思ひます。

b 膝ひざを打たつ

- ア 気が引きしまる
- イ 気が楽になる
- ウ 思わず感心する
- エ 乗り気になる

問三 線1 「似たような番組」とあります、その説明として

最も適当なものを次のの中から選び、記号で答えなさい。

ア 物事の表面的な部分についてはシンプルでわかりやすい解説をしているが、本質については複雑でわかりにくい解説をしてしまいがちである。

イ 問題の本質をとらえずに、わかりやすくおもしろい解説をしようとしているために、解説がわかりにくくものになってしまいがちである。

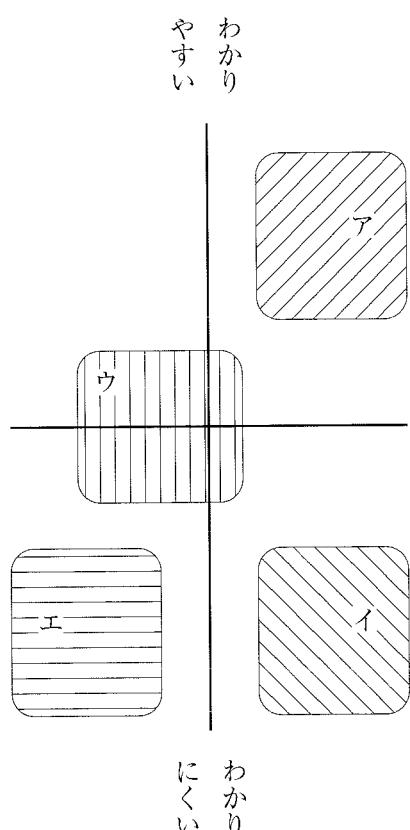
ウ 問題の本質をとらえたわかりやすい解説ではなく、単におもしろおかしいだけで、問題の本質をとらえていない解説をしてしまいがちである。

問四 線2 「今、何について／研究分野の解説」とあります

すが、「大学の学部生」「大学院生」「ベテラン教授」の、それぞれの解説は、次の図におけるア～エのどれに当てはまりますか。

記号で答えなさい。

本質を表している



問五 線3 「その先の／＼あるもの」とあります、どのように

なものですか。二十字以内で説明しなさい。

問六 線4 「そういう～あります」とありますが、「私」は「タ

レントさん」のどのようなどころに「怒った」のですか。その説明として最も適当なものを次のの中から選び、記号で答えなさい。

ア 「私」の意見を支持してくれるのはうれしいが、ニュースを観るうえで最も大切な、自分の考えを深めていくという姿勢が欠けていたところ。

イ ニュースに対して、自分の意見や判断を持とうとせずに、「私」に意見を求め、それをそのまま受け入れようという安易な態度であったところ。

ウ ニュースを観たあとに自分で考えてほしいという、「私」の主張を知つていながら、あえてそれとは反対のことをしようとしたりところ。

エ 「私」の意見をうまく聞き出して、それをまるで自分で考えた意見であるかのようなりをして、番組内で言おうとしていたところ。

問七

線5 「メディアの役割」とあります、筆者はメディア（テレビや新聞など）の役割をどのようなことだと考えていて、解答欄に合うように文中から五十字以内でさがし、最初と最後の五字を抜き出しなさい。

問八 線X 「わかりやすく～立場からすると」・Y 「わかりやすくな～と思います」とありますが、筆者の主張の説明として、

最も適当なものを次のの中から選び、記号で答えなさい。

ア ニュースの解説者には、伝えるべき」との全体を把握し、わかりやすく伝えることのできる事柄に優先順位を付けた上で、おもしろおかしく解説することが求められる。

イ わかりやすいニュースをきっかけに、様々なことに興味を持ち自分で調べたり学んだりすることで、自分と同じ考え方を持つ者を見つけることが重要である。

ウ 自分の意見をわかりやすく主張するためには、話し方の技術そのものよりも、幅広く豊かな知識や、物事の本質を見極める力を身に付けていくことが必要である。

エ 問題の本質をふまえた上でわかりやすい解説をすることで、読者や視聴者を「自分で考える」という営みに向かわせることが大切である。

國語

解答用紙（中学第一回）

問

1

問

1

問

問

1

問

問

問

1000

問

The diagram consists of two separate rectangles. The top rectangle, labeled 'a', is a square. The bottom rectangle, labeled 'b', is wider than it is tall.

受 驗 番 号

受験番号

氏名

氏名

得 点

得点

